

第2回埼玉建築文化賞受賞作品

埼玉建築文化賞は、日頃建築士会の会員が行われている仕事のなかで、特に地域の特性を活かし、かつ、景観的にも機能的にも優れた建築物等を表彰することにより、建築文化・居住環境に対する一般市民の認識を高め、文化の香り高い魅力に満ちた快適なまちづくりを進めていくことを目的として実施したもので、募集対象は埼玉建築士会の会員により設計又は施工された建築、それに付属する家具やアイデア等で、募集要綱の要件に該当するものです。

なお、応募作品の展示会を1月15日から1月19日までの5日間、コムナーレ9階(さいたま市市民活動サポートセンター・浦和パルコ上階)にて開催させていただきます。

第2回受賞作品 最優秀賞 (4作品)

【住宅部門】



作品名：七左の離れ家
会社名：(株)けやき建築設計
応募者：畔上 順平
支部名：越谷支部

この家の家族にとって、限られた敷地の条件を巧みに生かし、アプローチから建物内部まで続く素材と光の組合せは、とても心地好いものだと思う。子供達にとっては、これからの成長過程で家の大切さを学び、御夫婦にとっては、これまで以上に自身の感性を刺激してくれる生活空間を得た喜びが感じられる建築作品となっている。

【集合住宅部門】



作品名：Dragon Court Village
会社名：Eureka
応募者：佐野 哲史
支部名：さいたま南支部

モルタルの無機質感と木の有機質感を調和させた集合住宅は、厳しい設計条件を巧みに利用した配置計画となっていて、独立した離れ等の配置を風環境シュミレーションで検証し、通風・採光を積極的に取り込み、開放的であり、開口部の工夫でプライバシーも確保されている。また、中2階や離れと離れの間にある屋外を利用し、空間的にも変化や豊かさを感じ、検討に検討を重ねた設計力を感じるすばらしい作品だと思います。

外構もウッドチップを使用するなど、計画全体に低炭素化に配慮が見られ好印象です。

一方で、賃貸条件も臨機応変に区画の変更が対応可能なようで、運営の面でも実によく考えられていると思います。

最初、この作品に引き込まれたのは写真及び図面表現のうまさでしたが、内容を見て、隅々にシンプルながら注意が注がれたディテールに作品の良さを感じました。

【事務所・店舗部門】



作品名：Poram Building
会社名：宮崎均+REP 研究所
応募者：水野 通仁
支部名：さいたま南支部

東西に長い角地に面する1階から3階まで大きく切り取ったようなオーバーハングが印象的な建築物です。よく見ると長手方向は道路一杯に計画せず、(商業地域なので建築面積をできるだけとり、位置も境界までギリギリでという周囲の建物と比較して明らか) 通り方向に連続し配置された並木スペースを設けています。建物の無機質な打放し及びアルミルーバーが、植樹との対照的な組み合わせにより効果を高めているのも分かります。

また、建物形状や組み合わせのほかに質感もデザインしています。打放しは型枠が外は杉板で内はパネトとし、杉板は目透ししている。木目+目地状の模様が、無機質でありながらも中間的なものへと認識させているようです。

開放感のあるピロティ空間は2方向の壁面があり、一方は打放しの壁なので、吸い込まれるように店舗へと向かうことになり、ここに建物全体の無難なエントランスとせず、1店舗の入り口のみとしたところは思い切りもいいようで、店舗、事務所、住宅の複合建築物なので、それぞれの用途ごとにアプローチを分けている計画性があるようです。

店舗は1階全体の路面店とゾーンの的に半分を占める東半分のテナント1~5階、中央凹部からのアプローチ。それぞれ天井までのガラス開口により内部情報を広告する効果もあります。住居ゾーンは長手方向の中間部に静かにエントランスを設け、ここもファサードデザインとしての天井一杯までのガラス開口としつつもルーバーによりプライバシーを配慮。上層階はメゾネットでもルーバーなしの開放的な喧騒を遠ざけています。事務所ゾーンは吹抜けと真逆方向から控えめに専用アプローチです。

敷地をうまく配分し木々を設け、内部から使う人のみならず、外部の通りの人へも配慮している。

セットバックしそぎ取った部分が景観賞は受賞させていると考えます。

今回の受賞は景観と同時に、(実際すべてのテナントスペースが埋まっているようですが) デザインにより相乗効果的な計画を事業主に理解を得て、収益性を高めた理想的な土地活用・安全性から多用途としての事業収益計画を含めた建築設計を提案し、実現させていることがつながったのではないのでしょうか。

【教育施設部門】



作品名：アジア学院 コイノニア・教室棟新築工事
会社名：(株)松下設計
応募者：松下 充孝
支部名：さいたま北支部

このアジア学院は、世界約20か国からの学生を迎えて、農村指導者養成プログラムを行う専修学校である。(この活動に、ご興味をもたれた方は、一度HP等でご確認ください。)

そして、今回建設されたコイノニア教室棟は、その学院の建築の中でも重要メッセージを伝える建物となっている。しかし、この建築は象徴的なイメージは一切なく、少し「くの字」に配置され、まわりに存在する「里山の自然環境」と「建築」がとけ込むように設計されている。軒の高さを少し抑えた屋根と正12角形の大きなホール屋根が丁度黄金比のバランスで繋がるようにデザインされ、屋根とのスカイラインがとても伸びやかで美しい。

構造においても16mという大きなスパンをあえて木造大断面により構築し、創られた大きな空間は、「森の広場」を感じさせ、ここに集う200人程の生徒や指導者達へ心地よさを齎せており、評価できる。

その上、省エネ対策も、太陽光発電、太陽熱温水器、地下の冷気を利用した冷房設備や井戸水の利用等、現段階で考えられる最高のECO設備も設置されており、次世代においても十分に対応できる学校建築であり今回「最優秀賞」にあたいするものである。

第2回受賞作品 優秀賞 (10 作品)

【住宅部門】



作品名：KUMAGAYA SUMMER HOUSE
会社名：伊藤裕子設計室
応募者：伊藤 裕子
支部名：大里支部

【住宅部門】



作品名：深大寺元町の家
会社名：一級建築士事務所 rina design
応募者：大野 和則
支部名：さいたま南支部

【住宅部門】



作品名：フナバシのイエ
会社名：岩瀬アトリエ建築設計事務所(有)
応募者：岩瀬 行泰
支部名：さいたま北支部

【住宅部門】



作品名：慈光庵
会社名：島田義信建築設計事務所
応募者：島田 義信
支部名：大里支部

【住宅部門】



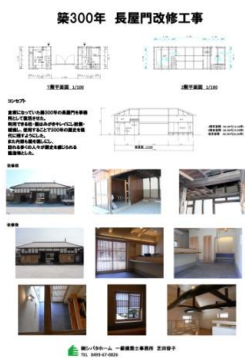
作品名：柳原の家新築工事
会社名：一級建築士事務所藤間建築工房
応募者：藤間 利一
支部名：北埼玉支部

【集合住宅部門】



作品名：FLAT CUBE
会社名：宮崎均+REP 研究所
応募者：水野 通仁
支部名：さいたま南支部

【事務所部門】



作品名：長屋門改築工事
会社名：(株)シバタホーム
応募者：芝田 容子
支部名：比企支部

【事務所部門】



作品名：リクシルショールーム東京
会社名：(株)ア・シード建築設計
応募者：並木 秀浩
支部名：川口支部

【店舗部門】



作品名：STUDIO CASHA
会社名：宮崎均+REP 研究所
応募者：水野 通仁
支部名：さいたま南支部

【リフォーム部門】



作品名：皿尾の家リフォーム工事
会社名：一級建築士事務所藤間建築工房
応募者：藤間 利一
支部名：北埼玉支部